

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

京都府農林水産部水産課

目的	漁業所得の向上			
目標	漁業経営体の競争力強化	整理番号：26		
事業実施主体	京都府漁業協同組合			
実施地区	京都府京丹後市網野町浜詰地区及び久美浜町湊宮地区			
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度		
	平成28～29年度	令和2年度		
助成金額	54,150千円			
事業計画の内容	自動製氷施設（製氷3トン、貯氷5トン）2基、プレハブ冷蔵庫1基			
評価	取組の目標（KPI）			
	基準年	（平成28年度時点）	4,357千円	
	現状値	（令和2年度末時点）	4,717千円	増加率 8.3%
	目標値	（令和4年度末）	4,793千円	増加率 10.0%
	成果目標			
	現状値	（令和2年度末時点）	34,058千円	
	目標値	（令和2年度末）	34,728千円	
	(1) 現状値の説明	氷運搬等に係る営漁経費は計画通り削減でき漁業者の収入も増加したが、2年目以降、湊宮地区でのサワラの販売単価が伸びず付加価値向上効果が発現しなかったため、目標値には達しなかった。		
	(2) 地域への経済効果	氷の販売単価の値下げにより事業経費の節減が進むとともに、十分な施氷により漁獲物の鮮度管理が充実し、魚価向上より事業収入が増加した。		
	(3) 所見	成果目標の達成率は92%であり、営漁経費の節減と、浜詰地区でのサワラの単価向上が進んだことにより、概ね目標とした経済効果が認められた。		
(4) 評価機関への意見等	評価機関設置なし			
今後の改善方向等に関する分析	漁獲物の付加価値向上効果が十分に発現しなかった湊宮地区を中心に、活〆の実施や保冷性の高いコンテナによる輸送などにより、サワラの高鮮度化を進め、魚価の向上を図る。			